

日本の天気の特徴⑤

地理学科3年
5121076 大窪悠斗

前回の復習

- ・ 春や秋には高気圧と低気圧が西から東へ交互にやってきて通り過ぎていくことが多い
 - 偏西風の影響！
 - ・ 大気の厚さは地上約数百km
 - ・ 主な気象現象がおこるのはわずか10km程度で極めて薄い
 - ・ つまり、高気圧や低気圧は風の影響を受ける！
-

四季の天気①

「四季の天気の特徴を気象データから考察しよう」

目標：四季の天気の特徴について、考察することができるようになる。

皆さんに質問！

「つゆ」、「台風」を知っていますか？

- ・ いつおこる？
 - ・ どういうことがおこる？
-

「つゆ」とは？

- ・時期：5月～7月
 - ・曇りや雨が多くなる
-

「台風」とは？

- ・時期：日本にやって来るのは8月～9月が多い
 - ・強い風、大雨になる
-

実習①

四季の天気の特徴を気象データから考察しよう

実習の説明

- ・以下のリンクより天気図をみて、各季節ごとの気圧配置を観察する

気象庁HP「日々の天気図」

<https://www.data.jma.go.jp/fcd/yoho/hibiten/index.html>

- ・観察してわかったこと・考えたことをGoogleフォームで提出すること
-

(参考) 四季の分かれ目 (気象庁より)

- ・春：3月～5月
- ・夏：6月～8月
- ・秋：9月～11月
- ・冬：12月～2月

本実習では、この分け方を使うこと

課題 (Google フォーム)

- ・ 実習をおこなない、わかったこと・考えたことをまとめなさい
- ・ Google フォームは以下リンクがGitHubに載せてあるものを読み込むと開くことができる

<https://forms.gle/zgzyQonHzNEXUm6VA>

- ・ 期限は原則授業時間内とするが、本日23:59まで受け付ける
 - ・ フィードバックは次回の授業でおこなう
-